

平成19年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議 東北海区海況予報

平成19年8月8日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2007年9～11月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°20'N～36°20'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- (3)下北半島沖および常磐沖の暖水塊は停滞する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並～やや北偏(40°30'N以北)で推移する。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N以北)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(143°30'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2007年1月～2007年6月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°20'N～36°N)で推移した。
- (2)2006年から鮫角沖に停滞していた暖水塊は、5月に黒埼沖に認められた暖水塊と6月に合体した。1月に常磐沖に認められた暖水塊は5月に北東に移動し、その後停滞した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、2月までは平年並(39°30'N～41°N以南)であり、3月は不明であったが、4月以降はやや北偏～かなり北偏(40°30'N～41°20'N)で推移した。
- (4)親潮第2分枝の南限は、2月までかなり北偏(41°10'N以南)であったが、3月以降は平年並～やや北偏(39°10'N～39°40'N以南)で推移した。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、2月まで極めて強勢であったが、3月にかなり弱勢、4月に平年並、5月にやや弱勢、6月にやや強勢で推移した。
- (6)東北海区の表面水温は、平年並で推移した。

(現況(2007年7月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏(35°20'N)である。
- (2)暖水塊が下北半島沖約260kmおよび常磐沖約440kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏(41°40'N)である。
- (4)三陸南部から常磐にかけての近海に冷水域がある。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、やや南偏(38°50'N)であり、連なる冷水がある。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(143°10'E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による。